

令和 8 年 7 月 21 日

大学評価・IR 担当者集会 2026 の開催について（第 2 次案内）

大学評価コンソーシアム

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

1. はじめに

今年度の大学評価・IR 担当者集会は、大学評価や IR に関する 9 つのセッションで開催します。このたびセッションの詳細が決まりましたので、ご案内します。

集会 1 日目は、九州大学西新プラザを会場として開催します。2007 年に第 1 回担当者集会を開催して以降、今年度が第 20 回目の集会にあたることから、これまでの 20 回の振り返りと今後の展望をテーマにした全体会セッションを行います。

集会 2 日目は、西南学院大学を会場として、8 つのセッションを設定しています。

いずれのセッションも各大学の課題を共有し、解決するための手がかりを持ち帰ってもらうことを主眼に置き、実践的な内容となるように企画しています。そのため、グループワーク等も取り入れて、全てのセッションを対面で実施します。なお情報交換会（懇親会）はありません。

2. 主催者・共催者

主催：大学評価コンソーシアム、九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

共催：西南学院大学、日本計算機統計学会

3. 日時

令和 8 年 9 月 3 日（木）13：30～16：30

9 月 4 日（金）9：30～16：00

4. 会場

1 日目：九州大学西新プラザ（福岡市早良区西新 2-16-23）

<https://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html>

2 日目：西南学院大学 2 号館（福岡市早良区西新 6-2-92）

<https://www.seinan-gu.ac.jp/introduction/facility/campusmap.html>

両会場ともに最寄り駅は、地下鉄空港線「西新」です。

5. 対象と参加費

- 大学評価、IR 及びその関連業務に従事する方を対象とします。営利企業の方でも参加いただけますが、大学評価及び IR 現場に関する情報交換が可能な方に限ります（情報交換にあたっては事前に顧客のみなさまから公表に関する承諾等を得るようにしてください）。
- 参加費は無料です。

6. 今後のスケジュール

- 参加申込受付は、7月24日（金）13時から8月21日（金）17時までです。詳細は「9. 申し込み方法」をご覧ください。定員に達した場合、受付期間内であっても締め切る場合があります。
- 資料のオンライン公開は、9月1日（火）の予定です。原則的に紙での資料配付はありません。

7. セッションのご案内

1日目：9月3日（木）【九州大学西新プラザ】	
13:30～16:30	A：全体会 2007年9月14日に第1回の集会を開催し、今年で20回目の担当者集会を迎えました。これまでの20回にわたる担当者集会の歴史とコンソーシアムの活動を振り返りながら、現在の国際的な質保証・質向上の状況や、日本における評価制度改革の動向と、今後の大学の対応課題を検討・議論する場を企画しました。活動当初から本コンソーシアムの運営等にご尽力いただきました方々に話題提供いただくとともに、会員の皆様と大学を取り巻く環境への対応等の討議を通じて、今後の活動の展望等を考えます。 ■講演・討議 - 趣旨説明：浅野茂（山形大） - 講演1「大学評価コンソーシアムにおける20年間の活動を振り返る」：小湊卓夫（九州大） - 講演2「日本における評価制度の変遷」：林隆之（GRIPS） - 講演3「現在の国際的な質保証・質向上の状況」：本田寛輔（ワシントン郡コミュニティ・カレッジ（メイン州）） - 講演者に対する質疑応答 - 討議テーマ「今後の大学の対応課題とは」（参加者との総合討論） - まとめ ※一部、オンライン配信を検討中
2日目：9月4日（金）【西南学院大学】	
9:30～16:00 （終日）	R1：IR 初級者セッション 本セッションでは、IR担当者になったばかりの方（概ね1年以内の経験をお持ちの方）を対象に、IRの初歩的な内容の理解に加え、大学における内部質保証の高度化や認証評価第4サイクルの展開を踏まえ、IR担当者でも「評価」に関する理解と実践力を高めることを目的に実施します。 前半は、IR、内部質保証、プログラムレビュー、学習成果、直接指標と間接指標、GPA等をキーワードとして2つの講義を行います。 後半は、DP（学習成果）の測定とGPAを扱う際の限界と課題、自大学で直面するIRの課題について3つのグループワークを行います。 参加者が確定したのち、課題を提示しますので、本セッションに参加するまでに取り組んでください。また当日は、データ分析を行うのでPCをご持参ください。データはWebサイトからDLしてもらいますのでWi-Fi環境をご確認ください。 ○小湊卓夫（九州大）、上畠洋佑（新潟大）、紺田広明（福岡大）、田中秀典（宮崎大）

	大)、山本幸一(明治大)、藤原宏司(山形大)
9:30～16:00 (終日)	E1：評価初心者セッション 評価担当者として「評価とは何か」について基本的事項を理解するためのセッションです。評価に関する基本的知識を講義した後、自己評価書作成(チェック)演習を4～5人によるグループで行います。想定する参加者は、評価の実務経験がほとんどない方(概ね1年未満)です。 ○関隆宏(新潟大)、飯田真由美(東洋英和女学院大)、土橋慶章(神戸大)、藤原将人(立命館アジア太平洋大)
9:30～12:00 (午前)	R2：IR実務担当者セッション 3名の話者が提供するIR実践事例を原則的に全問回答の質疑応答で掘り下げることで実践力向上を図るセッションです。完了事例だけでなく現在進行形の事例の報告も可としています。プログラムは別紙1をご覧ください。 後半の質疑応答では、オンライン質問感想票を使用します。PC、スマートフォンなどインターネット接続可能な端末をご持参ください。 ○橋本智也(大阪公立大)、荒木俊博(札幌大)、岡部康成(帯広畜産大)、竹中喜一(近畿大)、藤井都百(小樽商科大)、山本鉦(九州工業大)
9:30～12:00 (午前)	S：初歩的な統計講座 事務系職員を対象としたデータを分析する際に最低限持っておきたい統計の基礎知識を学ぶ勉強会です。データの種類を確認することからスタートし、データの散らばりの指標やグラフ表現、2変数の関連性の分析、母集団と標本の考え方などを学びます。簡単な演習問題に取り組む時間を設ける予定です。なお演習ではExcelを使いますのでパソコンを「必ず」ご持参ください。 ○藤野友和(福岡女子大)、山本義郎(東海大)、本多啓介(統数研)
9:30～12:00 (午前)	ER1：IR／内部質保証を機能させる体制等検討会 学部・学科運営に関わる副学部長や学科長等、事務部門の部課長等の役職者(経験者含む)を主たる対象者(未経験者でも、興味・関心のある方の参加可)として、IRや内部質保証の体制を機能させるための条件等について、過去に実施したセッションの内容等を踏まえつつ、昨今の情報等を提供するセッションです。具体的には、昨年度の参加者の皆様と討議させていただいた情報を紹介するとともに、日本の大学における学長及び部局長等へのインタビュー結果などを話題提供させていただきます。加えて、今年度米国で開催されたAIR(Association for Institutional Research)年次大会に関する情報も共有し、海外におけるIRの最新動向についても参考にしながら、参加者の皆様とIRや内部質保証体制を機能させるために何が必要かといったことを討議し、促進要因や阻害要因といったことを整理します。 ○浅野茂(山形大)、江端弘樹(周南公立大)、齋藤渉(東北学院大)、末次剛健志(長崎大)、鈴木拓人(筑波技術大)、山咲博昭(奈良女子大)
13:30～16:00 (午後)	ER2：評価・IR担当者のための「教学マネジメント課題の可視化」セッション 教学マネジメントや内部質保証に携わる評価担当者・IR担当者を対象に、各大学が直面する現状の課題を持ち寄り、その構造を可視化したうえで、参加者相互の意見交換を通じて改善の糸口を探ることを目的とします。教学マネジメントチェックリストやワークシートを実際に用いながら、評価・IRの担当者として現場の課題にどう向き合い、どこから手をつけるかを具体的に検討します。参加者は本ワークショップを通じて、所属大学における教学マネジメント上の現状の課題を

	把握し、その解決に関わるアクターや関連する組織体を可視化できるようになることを目指します。さらに、複数大学の参加者との意見交換を通じて自学の改善策を検討する手がかりを得るとともに、チェックリストやワークシートを活用して、評価担当者・IR 担当者として課題にどう対処していくかを構想する場とします。 ○山咲博昭（奈良女子大）、荒木俊博（札幌大）、井上一成（神奈川県立保健福祉大学）、岩野摩耶（山口大）、齋藤渉（東北学院大）、白藤康成（近畿大学）
13:30～16:00 （午後）	ER3：大学評価・IR 担当者向け合同相談会 ・国立大学法人評価では、第4期（4年目終了時評価）の各種報告書を6月末までに提出し、9月は「書面調査」（確認事項の問い合わせ等）に対応されている時期かと思います。また、第5期中期目標に係る「見直しの視点・中期目標大綱（素案）」が各大学へ通知され、次期中期目標の選択等についても検討を始めておられる大学もあろうかと思います。 ・大学機関別認証評価では、第4サイクルが開始され、第3サイクルで各大学が構築した「内部質保証」が有効に機能しているかが重点的に確認されるなど、内部質保証の実質化や継続性が問われることとなります。 ・IR では、執行部からの依頼により分析した結果の提供や改善の提案、教学や研究に関する継続的な分析作業の効率化、補助金申請や中期計画等に設定した評価指標（KPI も含む）の測定・蓄積作業、IR 体制の見直し等に取り組んでおられるかもしれません。 ・こうした中、日々の評価・IR 業務の中で感じる疑問を気軽に持ち寄れる場として、「合同相談会」を開催します。本セッションで設定した主なテーマは、①大学評価［国立大学向け］、②大学評価［私立大学向け］、③IR 業務［大学・関連機関向け］です。実施形式は就活ブースのようなオープンなスタイルとし、各ブースには実務経験のあるスタッフを配置します。皆様の素朴な悩みや具体的な相談をお聞きしつつ、参加者と議論しながら解決策を模索したいと考えていますので、肩ひじ張らない情報交換から新しい気づきを得ていただければ幸いです。 ※「9. 申し込み方法」に URL を記載したフォームから参加の申し込みを完了させた後、以下の URL から興味のあるテーマを1つ選んでください。 https://forms.office.com/r/yETekdqRGF ○大野賢一（鳥取大）、江端弘樹（周南公立大）、竹中喜一（近畿大）他
13:30～16:00 （午後）	E2：AI に評価報告書を生成させ隊 2025 年度の担当者集会で実施したセッションの続編です。今年も「自己点検評価報告書を AI に生成」してもらったら、現時点の技術ではどのくらいの出来具合のものが可能かを探ります。この1年で特に進んだ技術・サービスを整理し、2件の事例報告（室蘭工業大学、上智学院）を踏まえたうえで、AI に任せる業務と任せない業務の切り分けを通じて、評価担当者の仕事や専門性をあらためて見つめ直します。AI 時代において評価担当者に求められる役割についても、参加者とともに考えていきます。最新技術は積極的に活用し、自己点検評価の重要な要素である改善につながる議論に投入するための時間と余力を捻出することが、本企画の最終的な目標です。 ○藤井都百（小樽商科大）、末次剛健志（長崎大）、鈴木拓人（筑波技術大）、橋本智也（大阪公立大）

いずれの会場も無線 LAN サービス「eduroam」がご使用いただけます。

8. 過去の開催実績について

前回（令和 7 年度）の開催報告については、以下の web サイトをご覧ください。

○大学評価コンソーシアム

<https://sites.google.com/view/jcache/report/acc/%E7%AC%AC19%E5%9B%9Er7-9-4-9-5>

○九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/prof>

9. 申し込み方法

- 参加申込は、九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターが設定する特設サイトにおいて **7 月 24 日（金）13 時から 8 月 21 日（金）17 時までの期間**にお申し込みください。受付期間中であっても、定員に達した時点でセッションごとに申し込みを締め切ります。キャンセル待ちは受け付けません。
- 申し込み後に参加を取り消される場合は、「10. 問い合わせ」に記載したメールアドレスへ必ずご連絡ください。
- セッションごとの URL は以下の通りです。集会二日目は、同じ時間帯に複数のセッションが並行開催されます。お申し込みは、全日セッション(R1 または E1)を 1 つ、または午前・午後から各 1 セッションずつ（計 2 セッション）とし、選択したセッションの時間帯が重複していないかご確認の上、お申し込みください。重複した選択があった場合、すべての申し込みを取り消させていただきますので、予めご了承ください。
- 申し込み方法の詳細は、別紙 2（8－9 ページ）をご覧ください。

9 月 3 日（木）【九州大学西新プラザ】		定員
13:30～16:30	A：全体会「20 周年記念企画」 https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/470	150 名
9 月 4 日（金）【西南学院大学】		定員
9:30～16:00	R1：IR 初級者セッション https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/471	30 名
	E1：評価初心者セッション https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/472	30 名
9:30～12:00	R2：IR 実務担当者セッション https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/473	40 名
	S：初歩的な統計講座 https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/474	30 名
	ER1：IR／内部質保証を機能させる体制等検討会 https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/475	20 名
13:30～16:00	ER2：評価・IR 担当者のための「教学マネジメント課題の可視化」セッション https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/476	30 名
	ER3：大学評価・IR 担当者向け合同相談会 https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/477	20 名
	E2：AI に評価報告書を生成させ隊 https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/478	40 名

- 各種研修等のご案内などを希望される方は、以下のメーリングリスト（登録費・会費無料）にご登録ください。

○大学評価コンソーシアム（会員登録）：大学評価や IR に関する研修

<https://sites.google.com/view/jcache/membership>

○九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター（拠点 ML 登録）：FD／SD 及び専門的職員（アドミッション、カリキュラム、IR）に関する研修

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/maillinglist>

10. 問い合わせ

件名の冒頭を【9/3 評価 IR】としてくださいますようお願いいたします。

<申込に対する問い合わせ>

kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

<内容に対する問い合わせ>

jcache_m2024@googlegroups.com

大学評価・IR 担当者集会 2026 運営担当

fujitomo26@res.otaru-uc.ac.jp

藤井都百（庶務担当副代表幹事、小樽商科大学 グローカル戦略推進センター IR 室）

R2：IR 実務担当者セッションの報告内容の詳細

「自己点検・評価への AI 活用による教学マネジメントと内部質保証の実質化」

田中貴久（立命館大学 教学部教学推進課）

概要：AI を活用した自己点検・評価の高度化に向け、質的な各種根拠資料のナレッジデータベースと IR とデータベース構築の両輪を基盤に、Tableau によるアセスメントの可視化を通じて学部・研究科の PDCA サイクルを実質化する取組を紹介する。業務負担の増大や形骸化といった課題に対し、データ基盤・評価観点・組織文化の整備という観点から、AI 活用の実装条件を整理する。さらに、AI 時代における意思決定主体としての人の役割と必要な思考・能力について考察する。

「IR 基盤データの統合・可視化における、AI 活用事例 —逆向き設計で AI に方向を示す実践報告」

○阪本龍一（札幌大学 企画部 IR 推進室）、荒木俊博（札幌大学 地域共創教育機構 准教授（学長政策室担当部長兼務））

札幌大学の IR 基盤データ（入学・学生・卒業等）は、各担当部署からデータを集め、IR 推進室で整備してきたものである。これらを、個人情報の取り扱いに配慮した上で統合し、「何を見せたいか」という完成形から逆算する「逆向き設計」と同じ考え方をを用いて、生成 AI を活用した可視化を進めている。AI との役割分担を明確にし、専門の IR 人材を持たない小規模大学の事例として紹介したい。

「進学推奨に関連する要素の探索 —多変量解析に不慣れな実務者による AI 活用の試み—」

野上将司（京都産業大学 学長室 IR 推進室）

京都産業大学の卒業時調査では、NPS（Net Promoter Score）を用いて進学推奨意向を測定している。従来の記述統計による把握に加え、今回は AI を活用し、ロジスティック回帰分析・因子分析・パス解析を組み合わせ、進学推奨の関連要素の探索を試みた。

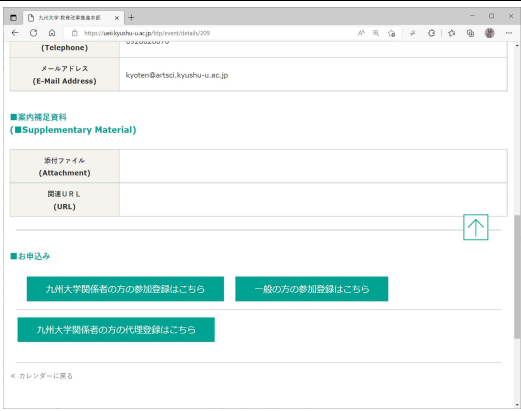
多変量解析にあまり詳しくない報告者が、AI を用いてどのように探索を進め、どのような結果を得たのかを報告する。

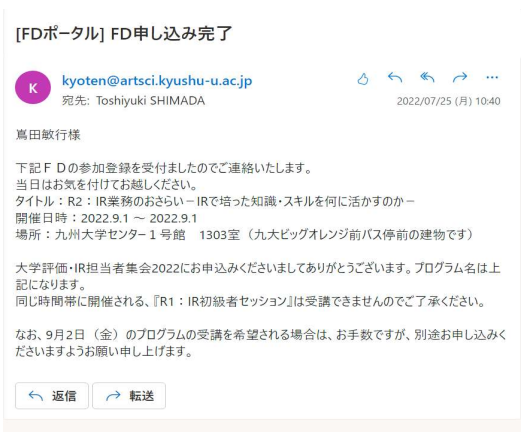
「Student Success を支えるデータ活用：米国ミネソタ大学訪問調査と山形大学の実践報告」

矢野智子（山形大学教育推進機構 IE 推進センター 講師）、鈴木達哉（山形大学エンロールメント・マネジメント部教務課 専門員）

報告者は昨夏、米国ミネソタ大学を訪問し、学生支援におけるデータ活用についてヒアリングを行った。同大学では「Student Success」を 4 要素（Academic Success、Sense of Belonging、Well-being、Thriving）で捉え、各種データを早期警告システム（Early Alert System; EAS）等の予防的支援に活用している。本報告では同大学の枠組みと運用体制を紹介するとともに、山形大学で進めている EAS の取り組みを取り上げ、日本の IR 実務への示唆を検討したい。

各セッションの申し込み方法について

①	「9. 申し込み方法」のセッションごとの申し込み先URL一覧をクリックする。	
②		九州大学関係者以外の方は「一般の方の参加登録はこちら」をクリックしてください。
③	＜入力画面＞ 	必須入力事項と任意事項があります。所属・役職等の欄には、お手数ですが、所属機関名、部署名、職名を記入してください。こちらに入力した内容を用いて出欠確認や名札作成をします。入力が済んだら、「確認する」をクリックしてください。
④	＜確認画面＞ 	内容に問題がなければ、「登録」をクリックしてください。

⑤		この画面に進めば完了です。
⑥		登録したメールアドレスにこのような確認メールが来ます。 (しばらく待っても届かない場合には、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。) kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp